

千葉県議会議員

小宮清子のさわやかメール

小宮清子県議会報告版

No. 67

事務所 流山市平和台 2-4-3 広葉ビル 201
E-mail hikomiya538@coral.plala.or.jp

TEL・FAX 04-7159-3781
URL komiyakiyoko.blog46.fc2.com

2月定例県議会代表質問に立つ

福祉県政の実現をめざし歩み続ける

2月定例県議会において代表質問に立ちました。4期16年取り組み続けた福祉は人権の視点から、高齢者介護や母子家庭への支援を含め、40項目の質問に取り組みました。地域主権の時代として、千葉県から平和を発信し、原発の無い社会をつくることを発信することを求め、森田知事と向かい合いました。(左の写真)

国追随県政から 地域主権確立に向けて

戦後70年、今、集団的自衛権行使に突き進むとする安倍政権の下、戦争をする国づくりが現実になるといって危険極まりない時代となっています。また、原発再稼働も強行しようとしています。福島第一原発事故から4年、未だに汚染水は漏れ続け、放射性廃棄物の管理や処理の対策



もありません。ふるさと、家族、仕事、未来を失い、避難生活を余儀なくされている人々。不安な放射能の健康影響など、ひとたび原発事故が起きたら、どれだけ悲惨で、どれほどの被害なのか。安倍政権の反省なき政治に対する森田知事の政治姿勢を質問しました。

〈質問〉集団的自衛権行使についての知事のお考えをお答え下さい。

〈答弁〉国会においてしっかりと議論すべきもの。

〈質問〉原発再稼働に対する知事のお考えをお答え下さい。

〈答弁〉原子力規制委員会が審査を行い、その結果を踏まえて国が責任を持って判断してほしい。

〈質問〉県として放射線被ばくに対応した子どもの健康調査をすべきと考えます。

〈答弁〉国において昨年12月に公表された専門家会議の中間とりまとめを踏まえ検討を行っていることから国の動向を見守りたい。

〈質問〉国が責任を持つてくるとした8000ベクレルを超える指定廃棄物の最終処分場の状況はどうですか。望月環境大臣は千葉県内候補地が5000カ所にもものぼると発言していますが、県はこの情報をとらえていますか。

〈答弁〉個所数は多いが、詳細な内容については承知していません。

※国の動向を見守っている内に子どもは成長していきます。健康調査はデータの積み重ねが大事です。国が千葉県のホットスポットとなった地域の子どもの健康を守らないのなら、県として守るべきです。

集団的自衛権、原発再稼働に対して、知事は国のやることとして自身の考えは無いようです。地方分権の時代と言われていますが、千葉県はまだ中央集権下にあるようです。

特養整備状況、全国都道府県中ワースト2位

介護の社会化を目指した介護保険制度発足から15年。4月からの制度改正は介護の社会化から家族・家庭へと引き戻そうとし、負担増とサービス絞込みを進めるものです。

「主な改正内容」

- ・介護保険利用者の自己負担1割から年収280万円以上の人は8割から2割負担に。
- ・特別養護老人ホームへの新たな入居者は原則要介護3以上に。
- ・要支援の訪問介護、デイサービスが介護保険から市町村事業に移行。

〈質問〉介護職員の不足が問題となつています。特別養護老人ホームの入所制限、デイサービス事業所、訪問介護事業所の休止状況はどうですか。

〈答弁〉平成26年度において介護職員不足により特別養護老人ホームで開所が遅れている施設は1施設40床。当初の予定より少ない定員で開所1施設。デイサービスは20事業所、訪問介護は21事業所が職員不足で休止した。

〈質問〉介護職人材育成として千葉県における介護福祉士養成施設の入学状況はどうですか。

〈答弁〉定員に対して69・4%の入学率です。

〈質問〉特別養護老人ホームの整備状況は全国的に見てどういう状況ですか。

〈答弁〉平成25年10月1日現在、65歳以上人口10万人あたりの特別養護老人ホームの定員数は、千葉県は1396人であり、全国平均1647人より少なく、全国順位は46位。ワースト2。

無料法律相談
一人で悩まずご相談下さい

毎月第4土曜日午後2時～4時
平和台 2-4-3 社民党事務所
(できましたら事前にご連絡下さい)
相談日以外でも弁護士への相談を受け付けます。

法律相談 法律を必要とするどのような問題にでも直接弁護士が相談に応じます

市民相談 福祉、教育、環境、地域の諸問題など

04-7159-3781 (社民党事務所)
090-8431-8107 (小宮携帯)

増え続けるお泊まりデイサービス、未届有料老人ホーム

特別養護老人ホームにはなかなか入れず、在宅介護は困難な状況下で、未届有料老人ホームの利用が増えています。身体拘束などの高齢者虐待や入所の環境などの問題が明らかになっていきます。

〈質問〉県内のお泊まりデイサービス、未届け有料老人ホームの現状はどうですか。

〈答弁〉お泊まりデイサービス事業所は148カ所、未届有料老人ホームは15施設。必要介護5、在宅、ひとり暮らし

でも特別養護老人ホームに入所できずに待機している人がいます(県内に2014年現在で485人)。お泊まりデイサービスや未届有料老人ホームが増え続ける状況を見れば、千葉県の高齢者福祉は全国最低レベルです。県民要望の高い、高齢者福祉の充実。この県民の声を

しっかりと受け止めるべきです。介護職の人材確保は厳しい状況です。県として今後の高齢者増、介護保険利用者増に

オオタカの森(県立市野谷の森公園)を守ろう

オオタカの棲む森として平成12年に県立市野谷の森公園として整備することが決められてから15年。用地取得も進まな

いまま、情報不足、地権者の県への不信は募っています。オオタカはもちろんですが、生物多様性においても貴重な森です。この自然を残すことは、流山市にとっても千葉県にとっても重要な施策です。

〈質問〉現在の整備状況はどうですか

〈答弁〉オオタカの森約18.5ヘクタールを一期区域として整備中。平成26年度末までに1期区域の約67%、2.5ヘクタールの用地取得見込み。平成29年度に1期区域の完成を目指す。

〈質問〉地元関係者との意見交換・情報交換の場には参加しますか。〈答弁〉参加を求められたら県としてこれに対応していく。



対応できるよう、人材育成への支援策の充実が大事です。人がいなくて介護保険事業所の廃止、特別養護老人ホームの定員が減ったりすることのないように。



貧困の連鎖を断ち切ろう

2013年の国民生活基礎調査では、日本の相対的貧困率は16.1%で最悪の状況です。17歳以下の子どもの貧困率は16.3%。子どもの6人に1人が貧困という状況です。ひとり親家庭の貧困率は54.6%で、その大半は母子家庭です。

〈質問〉母子家庭の母親への就労支援、子どもへの支援状況はどうですか。

〈答弁〉収入の向上につながる支援を推進していく。教育環境が十分でない場合も多く、学習支援が求められており、学習支援ポラン

ティア事業を行う市町村への助成を実施。子どもの貧困対策についての計画の策定の中で指標の設定や目標について検討。※貧困・格差、こんな言葉が飛び交う社会になっていきます。本来、政治は貧困や格差をなくすものですが、今日、政治が貧困・格差を生み出しています。母子家庭の母親の中には、二つも三つもパートを掛け持ち、子どもと接する時間もなく、食事も一緒にできない状況にあります。正規雇用につくような、県の施策を求めます。

定時制高校の給食廃止は教育の後退の道

定時制高校の授業時間は午後5時20分から9時です。この間に給食時間があります。10代の後半から20代の生徒たち、まだまだ育ち盛り、食べ盛りです。県教育委員会は新年度から東葛飾高校と千葉工業高校の2校において給食の取りやめをすることを決めました。現在、給食は外部調理方式であり委託されています。この委託料を削ることが目的のようです。生徒はさらに劣悪な食生活に追いやられていきます。

〈質問〉今回、2校の給食を廃止することですが、なぜ給食の希望者が少ないのですか。

〈答弁〉最寄駅周辺に夕食を購入できる店が多い。給食時間の設定を早くしていることもあると考えられる。さらに詳細な分析をする。

〈質問〉給食を食べない生徒は何を食べているのですか。〈答弁〉自宅・職場で食べてきたり、途中で弁当を購入したり、中には夕食を食べない生徒もいる。

非正規雇用から正規雇用へ 県の雇用政策に本気を

総務省が発表した労働力調査によると、昨年12月の非正規労働者数は2016万人、働く人の38%にもなります。非正規雇用は増え続け、企業にとっては安く使える労働力です。

〈質問〉千葉県における非正規雇用の状況はどうですか。〈答弁〉千葉県として正規雇用促進への取り組みはどうですか。健康面への影響、経済的影響など重要な事です。校内で弁当を売るからそれを買えば良いというような、食を粗末にする姿勢は、教育の荒廃そのものです。県庁職員にとっては一食あたり例えば100円負担が増えようが痛くも痒くもないでしょう。しかし生徒にとっては100円は痛い。たとえ100円でも痛いとは感じないのでしょか。

〈質問〉若者への対策として「ジョブカフェちば」「若年者就労応援事業」に取り組む、女性に対しては「ジョブサポートセンター」での支援を行っている。〈答弁〉若者への対策として「ジョブカフェちば」「若年者就労応援事業」に取り組む、女性に対しては「ジョブサポートセンター」での支援を行っている。*